

佐渡ヶ島で「ミサイル艇はやぶさ」 艦艇広報 海上自衛隊をPR



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は8月24日（土）25日（日）の両日、両津港（佐渡市）において、「新潟開港150周年記念事業」イベントに伴う「ミサイル艇はやぶさ」の艦艇広報を支援し入港歓迎行事、一般公開を実施しました。この公開は、新潟開港150周年記念事業の一環として両津港で開催されたもので、2日間で地元住民や首都圏などから来た県外の観光客など約720人が「はやぶさ」を訪れ、海上自衛隊をPRしました。

入港歓迎行事では、佐渡市副市長が「はやぶさ」乗組員へ「佐渡市へようこそ。佐渡市は離島であるため、災害等がある場合は自衛隊にお願いすることが多く常日頃から自衛隊の皆様には感謝しています。佐渡を堪能するとともに自衛隊のすばらしさをPRしてください」と感謝と激励の言葉を述べられた後、佐渡市及び隊友会佐渡支部からミサイル艇への記念品贈呈式が行われました。



一般公開では、ミサイル艇に装備されている「90式艦対艦誘導弾」が目視できない遠く離れた敵艦にも命中させることができるとの説明に来場者から驚きの声が上がっていました。



岸壁では佐渡駐在員事務所へ臨時勤務の近松空士長が、制服試着コーナーなどの募集広報ブースに訪れた家族連れなどへ笑顔で対応するなど、ブースに華やかさを添えていました。また、航空自衛隊第46警戒隊（隊長 2空佐 大門一樹）による車両装備品展示も行われ航空自衛隊の魅力もアピールしました。

新潟地本は、今後も様々な広報イベントを通じて自衛隊の活動をPRするとともに、募集広報基盤の拡充を図っていきます。